

## 「毎月分配型」が指数下押し

ドイツェ・アセット・マネジメント オルタナティブ運用部ディレクター 小夫孝一郎氏



不動産投資信託（REIT）の総合的な値動きを示す東証REIT指数は、2018年半ばにかけて節目となる1600を割る可能性がありそうだ。見直されてきた「毎月分配型」投信の売り圧力が想定以上に強いため、指数を下押しする動きが続くだろう。

ただ、18年中にも割安感に着目した海外勢をはじめとした機関投資家の買いが入るとみている。それを機に指数は反転し始めるだろう。分配金利回りと長期金利の差を国際比較しても、米国や欧州より割安感が強いと思われる動きは、投信市場全

掲載日 2017年12月11日 日本経済新聞夕刊 5ページ

※上記の記事使用は日本経済新聞社の許諾を得ております。